



學び舎に魂合わせ

令和6年11月15日（金）
第6号（2学期）
伊那市立東部中学校
作成 松坂 真吾

活気と躍動感にあふれた体育祭！！



10月18日（金）に体育祭が行われました。大縄跳び、借り物競争、全員リレーの3種類の競技が行われ、皆が選手となり、クラスの団結力を示しました。また、300名近い保護者の皆さまも学校に足を運んで頂きました。ありがとうございました。

今年度も体育委員会の皆さんが、何日も前から準備や進行のリハーサルを行い、当日は皆が楽しく参加できるよう力を尽くしてくれました。全校生徒も運営に協力し、スムーズに競技を進めることができました。東部中生のパワーと魂が全開の素晴らしい時間でした。

体育祭の感想（学級通信より抜粋）

- ・3年間で最後の体育祭、どこのクラスもめっちゃガチです。縄跳びで最初、2回くらいしか跳べなくて、「終わったなー」って思ったけど、最後急に覚醒して38回跳べた。借り物は、みんな頑張って上位に食い込んでいました。最後のリレーは、初めて全員で走ったのにバトンミスも少なく、何とか3位！にそして優勝！！最高でした。（3年生）
- ・今日は体育祭がありました。結果はあまりよくなかったけれど、たくさん頑張れたし、楽しくできたので良かったです。来年こそはという思いが膨らみました！（2年生）
- ・体育祭があり、とても楽しかったです。自分は係の仕事があり、忙しかったですが、やっぱりみんなの一生懸命ながんばりが勝敗よりも大切だと感じました。大切なのはこの「頑張り」や「団結」をどうやって日常生活につなげていくかだと思います。（1年生）

地域感謝交流会、文化講演会、開催！

10月4日（金）には、コロナ後初めて、地域感謝交流会を行い、約90名の地域の皆さんに来校いただきました。日頃の総合的な学習の成果や合唱発表を行いました。参加頂いた皆さんからは、学校の取組を実際に知ることができてよかったという感想を頂きました。



また、10月25日（金）には、参観日に合わせ文化講演会が行われました。

本年度は、「自分らしく生きていくこと」と題し、歌手で乙女塾創設者の西原さつきさんよりお話をいただきました。西原さつきさんのHPには、「いっぱいアクションしてくれて、うれしかった！」と生徒の皆さんへの感謝が記されていました。合わせて、令和7年度の新入生から採用される制服について、制服会社さんより込められた意図や開発秘話についてのお話もありました。

1710 その六

体育祭と選挙と・・・本校にある幸せ

現在長野県でも児童・生徒数は減少傾向にあり、学年が単級（学年に1クラスしかない）である割合が増えているそうです。

東部中学校は、学年に6,7学級あり体育祭も選挙もあたり前のように競う相手がいます・・・、幸せなことですね。多くの考えに簡単にふれることができ、自分自身を高めていくために活用できれば、素敵な環境だと言えます。これは授業も同じであり、「友だちの意見にふれる」「友だちの姿から学ぶ」ということにもつながります。先生から教えてもらうことに加え、そういう視点で学ぶ時間が増えるとしたものです。そしてその瞬間がまさに主体的で対話的になっているのではないのでしょうか。

「え～、そうかなあ、私はこう思うよ」

「その部分は理解できるけど、ここはこうなるのでは？」

「それって本当!?先生にも確認してみる??」

アメリカ大統領選挙後、あるジャーナリストが「これからのアメリカは、『同意はできないけど、尊重する』という考えをどれだけ国民がもてるかがポイントである」とコメントしていました。表面に出てくるもの（体育祭の勝敗や選挙結果など）にこだわり過ぎず、切磋琢磨できることに感謝しながら、あるべき人間性を磨きたいですね。



12月の主な予定

2日（月）人権講演会

4日（水）～11日（水）保護者懇談会

17日（火）小中連携会議のため下校14:30

20日（金）1年生性教育講演会

23日（月）生徒総会

25日（水）2学期終業式

※懇談会予定は、20日（水）を目安に担任より配付されます

